

身体的拘束最小化に対する取り組み

① 原因をみつけ、取り除くケア

患者さんの状態（痛み、発熱、環境の変化による混乱など）を毎日評価し、不安や苦痛の原因を取り除くよう努めます。

② 「せん妄（意識の混濁）」の適切な対応

一時的な意識の混乱（せん妄）が見られる場合は、原因を分析して必要な検査や治療を行います。必要最小限のお薬を適切に使用し、早期の回復を目指します。

③ 専門チームによる院内巡回

「身体的拘束最小化チーム」が定期的に院内を回り、拘束を減らすための具体的な工夫を現場のスタッフと一緒に考えています。

④ スタッフの研修と環境づくり

人権を守るための研修を定期的に行い、拘束をしないためのケア用具の導入や、成功事例の共有、データの開示などを通じて、病院全体の意識を高めています。

〈身体的拘束の実施状況〉

